

全身性エリテマトーデス (SLE) 患者に合併した Lupus anticoagulant-hypoprothrombinemia syndrome (LAHPS) に関する症例報告研究について

【研究課題】

リードレスペースメーカー留置術後に出血傾向を呈した高齢全身性エリテマトーデス患者に合併した Lupus anticoagulant-hypoprothrombinemia syndrome の一例

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター リウマチ科

研究責任者 橋本頼和

担当業務 データ収集・匿名化

【研究期間】

倫理委員会承認日～2025 年 3 月 2 日まで

【対象となる方】

本研究の対象となるのは、当院でリードレスペースメーカー留置術を受け、その後出血傾向を呈し、全身性エリテマトーデスおよび Lupus anticoagulant-hypoprothrombinemia syndrome (LAHPS) と診断された患者様です。

【研究の意義】

LAHPS は極めて稀な出血性疾患であり、高齢の SLE 患者においては特に報告例が少ない状況です。本研究は、出血傾向を呈した貴重な臨床例を解析し、同様の患者への診療や病態理解に役立てることを目的としています。

【研究の目的】

本研究は、当院で診療した LAHPS 合併 SLE 症例の臨床経過・診断過程・治療反応を後方視的に整理・検討し、医療者間で知見を共有することにより、今後の同様の臨床対応に資することを目的とします。

【研究の方法】

この研究は、過去に当院で診療された患者様の診療録、検査データ、画像記録などの既存情報を使用して行われる観察研究（症例報告）です。新たな検査や治療、来院をお願いすることは一切ありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される情報・データは、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。氏名、ID、生年月日などの個人を特定できる情報はすべて削除し、代わりに符号化（匿名化）を行ったうえで、責任者が厳重に保管します。研究結果は、個人が特定されない形で、学会や論文などにおいて公表される場合があります。収集したデータは厳重に管理され、研究終了後 5 年間保管された後、適切に廃棄されます。この研究のためにご自身の情報を使用してほしくない場合や、ご不明な点がある場合は、主治医または下記連絡先までご連絡ください。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

【問い合わせ先】

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター腎リウマチ科

〒901-1193 沖縄県南風原町新川118-1

Tel : 098-888-0123 Fax : 098-888-6400

2025 年 12 月